

校報「にはやし」



能代市立朴瀬小学校

学校教育目標
「夢をいだき、強たくたくましく生きる子どもの育成」

平成30年4月10日 No.2

平成30年度 入学式 (4月6日)

※ホームページ掲載は一部変更しております。

4月6日(金)は平成30年度の入学式でした。

本年度は2名の児童が入学し、全校児童22名となりました。

在校生と来賓の皆様が迎える中、担任の先生に引率された2名の新入生が堂々と入場しました。式が始まりました。最初に、担任の先生からの氏名点呼を行いました。自分の名前が呼ばれると、二人とも大きな声で返事をして、とても立派でした。

その後、私がお話をしたり、PTA会長さん、6年児童の話と続いたのですが、しっかりと前を向いてきちんと話を聞いていて、素晴らしい新入生だと実感しました。

2年生から6年生の子どもたちもきちんと話を聞き、最後には大きな声で校歌を歌いました。

ここに1年生から6年生までがそろった朴瀬小学校の姿がありました。今から全学年がそろい、学校生活が始まるのだと思い、とても嬉しい気持ちになりました。

【在校生と対面して挨拶を】 →

式が終わると、1年生を迎える発表を行いました。5年生児童が司会を、歓迎発表を2年生が行いました。2年生からは、まず、これまで学んできた英語活動を生かしての発表を行いました。「私達はとてもうれしいです。なぜなら、新しいお友達ができ



たからです。」という台詞を日本語と英語で行い、その後、いろいろな動作を英語を交えて行いました。その後は、5月の運動会で全校で発表する「ヤートセ」を披露しました。

1年前は、椅子に座って上の学年の子どもたちの発表を見ていた2年生が、大きく成長した姿を見ることができました。

それぞれの学年が一つずつ進級し、1年生が入学し、本格的な平成30年度のスタートです。22名の子どもたちと、充実した1年を過ごしていくように、職員一同努力していきたいと気持ちを新たにしました入学式でした。

【2年生による心のこもった歓迎発表】

新任式・始業式 (4月5日)



4月5日(木)は平成30年度の新任式・始業式を行いました。

新任式では、6名の新しい職員を紹介しました。子どもたちは朝の登校の時間から、とても楽しみにしておりましたので、私が一人一人の職員を紹介すると、目を輝かせながら、ステージを見ておりました。

引き続き、始業式を行いました。「これから平成30年度能代市立朴瀬小学校、始業式を行います」という、開式の言葉は、新しい教頭先生のデビューでした。

最初は担任発表でした。

子どもたちは、自分の担任の先生が誰になるか、ドキドキのようでした。2年生から6年生まですべての担任の先生が持ち上がりでしたので、みんな安心した表情をしていました。

私のお話が終わり、代表の子どもたち5名の発表でした。どの子どもの発表も堂々としていて、内容も深く、素晴らしいものでした。今年一年、「さらに一歩進める」ことができることを確信いたしました。

【新任式 職員紹介】

【歓迎の言葉】

【始業式 児童発表】



始業式で子どもたちに次のこととお話ししました。(抜粋)

みなさんにまずお願いしたいことは、「日々に新たに、さらに一歩前へ」ということです。日本で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹先生が「一日生きることは、一歩進むことでありたい」と話しております。

朝起きて、夜寝るまでの一日。昨日と違うことを学び、行い、少しだけ一歩進む。10日で10歩、100日では100歩と気が付けば大きく進むことになります。昨日より一歩前に進み、それを積み重ね、自らの成長につなげる学校生活にしましょう。先生方もみなさんに負けず「さらに一歩前へ」進む気力で頑張りたいと思います。

次にこれを見てください。「さらに、かがやげ、朴瀬っ子」という目標を立てました。

実は、かがやげの一つ一つには、皆さんに目指してほしい姿が隠されています。

「か」は「かしこい子」です。勉強ができるように、いいことと悪いことをきちんと分かって行動できるように、人のために働けるように、頭を使える子どもになってください。

「が」は「がんばる子」です。毎日の学習にしっかり取り組む子、仕事や運動も最後までしっかり行う子、そうしたがんばる子になってください。

「や」は「やさしい子」です。友達や家族に思いやりのある態度で接する子、困っている人に声を掛けたり、助けたりすることができる子どもでいてください。

「げ」は「げんきな子」です。体を鍛えて、自分の運動する力を伸ばすことができたり、明るくあいさつしたりする元気な子でいてください。そして、みなさんの元気で、この学区全体も明るく元気にしましょう。